

勇往邁進

Vol.11

R7.07.04

港区立御成門学園御成門中学校

☆「想いをひとつに—『証』に込める決意」

このたび、10月31日（金）にサントリーホールで披露する学年合唱曲が、『証』に決定しました。サントリーホールという、日本でも屈指の音響を誇る舞台で歌う機会は、そう多くはありません。そんな特別な場にふさわしい1曲として選ばれた『証』。この曲には、「ともに過ごしてきた日々」への感謝、そして「未来へ向かう決意」が込められています。

歌うことが大好きなこの学年。昨年の合唱コンクールでは素晴らしい歌声を披露してくれました。9年生に成長した今、きっと歌詞の意味を深く味わいながら、一人ひとりが心をこめて歌ってくれると思います。

卒業式でも歌う予定の『証』は、この学年にとって大切な思い出の1曲になります。10月の本番まで、仲間とともに声を重ね、心を合わせ、学年全体でひとつの音楽をつくり上げていけるよう、楽しみながら取り組んでいきます。

これからの成長がますます楽しみな生徒たちです。ぜひご家庭でも話題にいただき、励ましの言葉をかけていただけたら幸いです。

☆生徒スピーチ

9年1組

気づいている人もいると思いますが、このスピーチは1年で1人1回しか話せない貴重な時間だと思います。そんな1年に1回の最高の僕のスピーチです。自分でハードルを上げていますが、聞いてください。

今日僕が話そうと思うのは、「行ってきます」と、「行ってらっしゃい」という言葉についてです。みなさんは、「行ってきます」の語源を知っていますか。それは、「行って参ります」だそうです。僕は、「行ってきます」、「行ってらっしゃい」をととても大事にしています。

語源としては、僕くらいの年の男の子とその母親が、朝喧嘩をしたそうです。いつもは「行ってらっしゃい」、「行ってきます」をしていたのに、その日はしなかった。そしたら息子は交通事故で亡くなってしまって、母親はその時いつも何気に言っていた「行ってらっしゃい」を言えなかった、「行ってきます」を聞けなかった。

語源には続きがあって、「行って参ります」には、「生きて必ず帰ってきます」という昔の人の思いが込められ

ていました。年代ごとに意味は変わるらしいですが、僕はその「生きて必ず帰ってきます」と、「生きて必ず帰ってらっしゃい」という思いで、言っています。「行ってきます」と言って、「行ってらっしゃい」と言われると、日々の感謝や自分の恵まれた生活を感じることができると思います。

今、反抗期とか、勉強のストレスとかで素直に言えない人や、言う習慣がない人は意識して言うてみてください。僕が伝えたかったのは、「行ってきます」、「行ってらっしゃい」の2つの言葉で、勉強も部活も恋愛も絶対上手く行くと思いますし、人生が豊かになると思います。

9年3組

皆さんは今、何歳になりましたか。1つ歳をとることで変わることがあるのをご存知でしょうか。15歳になったら保護者の同意の上で、就職やアルバイトが可能になるそうです。そして、皆さんは年を重ねるごとに1年の体感時間が短くなったと感じたことはありませんか。これは、「ジャンーの法則」と言って、しっかりと証明されています。

「ジャンーの法則」とは、年齢を重ねるにつれて、1年が早く感じるという現象を指します。これは、人生において、1年の比率が年齢とともに小さくなるからです。例えば、1歳の方が1年を1とすると、2歳の方は人生の1/2が1年、中学3年生の15歳では、人生の1/15が1年、のように年の比率が小さくなります。

ですから、小さい頃は1年が人生の大きな割合を占めるため、1年が長く感じられますが、時間が経つにつれてだんだん1年の体感時間が早まります。

卒業まで残すところあと8ヶ月になりました。時間は限られているので、この1年があつという間に終わってしまわないよう、勉強も行事も精一杯頑張ろうと思います。皆さんもこのことを頭に入れて、時間が有効に使えるように残りの学校生活を送ってみてください。